

令和5年度 生涯学習・社会教育関係職員研修事業パワーアップセミナー
実施報告書（HP版）

- 開催日時 令和5年5月18日（木） 10:00～16:35
- 会場 遊学館（山形市緑町1丁目2-36） ホール、第1・3研修室
- 対象 市町村社会教育・生涯学習関係職員（公民館職員・コミュニティセンター職員含む）のうち、経験年数が1年未満の初任者と、2年目以上の職員で過去に受講できなかった者。
- 講師 安藤 耕己 氏（国立大学法人山形大学 地域教育文化学部教授）
皆川 雅仁 氏（秋田県生涯学習センター社会教育主事・秋田大学非常勤講師）
中里 秀樹 氏（山形県教育局生涯教育・学習振興課 社会教育専門員）
- 出席者数 申込者86名中85名出席（出席率98.8%）
- 内容

	◇受付（9:30～9:55）	◇開講式（10:00～10:05）
10:05～11:35	◆講義①「生涯学習・社会教育とは～生涯学習・社会教育関係職員に求められる役割」 （講師：山形大学地域教育文化学部教授 安藤耕己氏） *生涯学習の理念や社会教育の役割、今後の生涯学習・社会教育行政の動向など職務に必要な基本的な知識や考え方を学ぶ。	
11:35～12:45	事務連絡・昼食休憩	
12:45～13:15	◆講話「令和5年度 県生涯学習・社会教育行政施策概要と新任職員に期待すること」 （講師：山形県教育局生涯教育・学習振興課 社会教育専門員 中里秀樹氏） *令和5年度の山形県の生涯学習・社会教育行政の動向を学ぶ。	
13:15～13:25	休憩	
講義 13:25～14:55 演習 15:05～16:15)	◆講義&演習 「社会教育のマネジメントはどうあるべきか～LRDCマネジメントサイクルで考えてみた！」 （講師：秋田県生涯学習センター社会教育主事・秋田大学非常勤講師 皆川雅仁氏） *社会教育の推進に有効なマネジメントの手法を学び、その活用（演習）を通して、いま山形が抱える地域課題解決の糸口をつかむとともに、多様な主体との連携・協働の必要性を理解することで関係職員のスキルアップを図る。	
16:15～16:30	質疑応答・諸連絡・アンケート記入	

- 主催 公益財団法人山形県生涯学習文化財団 山形県教育委員会

- 当日の様子

◆講義①「生涯学習・社会教育とは～生涯学習・社会教育関係職員に求められる役割」

「社会教育とは何か」という概念を、日本における戦後からの教育の歴史や諸外国との比較を通して、各種法令を紐解きつつ講義いただきました。



講師の安藤氏



会場の様子

参加者の声

- ・社会教育という言葉は今まであいまいな感じでとらえていたが、この講義でどのようなことが社会教育にあたるのか、また住民が生涯学習をするために職員はどのようなことでサポートしたらよいかわかった。
- ・このような内容をしっかり理解した上で職務にあたることが重要だと思った。1回だけでは理解するのは難しいかもしれないが、自ら不足した分を学ぶことも必要と感じた。
- ・社会教育の基本が整理された。

◆講話

「令和5年度県社会教育・生涯学習行政施策概要と新任職員に期待すること」

講師の中里社会教育専門員より、今年度の山形県の社会教育・生涯学習行政施策概要についての説明や、新任職員へのメッセージをいただきました。



参加者の声

- ・社会教育を充実したものにするにはどうしていけばよいか、また、どのような協力を住民としていけばよいかを学べた。
- ・県の方針をこの機会に伺うことができ、よかった。本市の事業にも活かしていきたい。
- ・社会教育の全体像を捉えることができた。全体の中での自分の役割をしっかりと果たせるよう、支援等していきたい。

◆講義&演習

「社会教育のマネジメントはどうあるべきか～LRDCマネジメントサイクルで考えてみた！」

最後の講義では社会教育とは何か、教育基本法の解説からスタートし、熟議やLRDC マネジメントサイクルを活用した事務事業のつくり方についてお話いただきました。講師のこれまでの経験から生まれたLRDC マネジメントサイクルによる事業の進め方、また地域を巻き込み横のつながりであるネットワークを張り巡らせることの重要性を学びました。

熟議とは…多くの当事者（関係する地域住民等）が集まって地域の課題について学習・熟慮し、討議することによって互いの立場や果たすべき役割への理解を深めること。熟議を重ねることで解決策が洗練され、個々人が納得して自分の役割を果たすようになっていくといわれています。今回は受講生5～6人のグループごとに「これからの山形をつくり人たち（こどもたち）に伝えたい『山形らしさ』ってなに？」をテーマに、活発な熟議を行いました。



参加者の声

- ・話がわかりやすかった。4月の人事異動で変わってから今やっている事業がはたして行政の仕事なのか疑問に思っていたが、先生の話聞いて納得できた。
- ・中教審答申の内容をかみくだいてわかりやすく教えていただいたことで、今後どのような文章を読むか、どのように業務に向かうかを考えることができた。
- ・皆川先生のお話をお聞きし、社会教育主事としての可能性にわくわくした。初めてだからこそその視点とつながり、つながりづくりを大切にしていきたいと思う。ワークショップではフランクに話すことができ、楽しいやり方を学ぶことができた。
- ・講義は勉強になり、またチームでの熟議も初めてで皆さんの意見等は自分自身のパワーアップにつながったと思う。